

2022年 10月 1日(土) 予選 / 10月 2日(日) 決勝

2022 AUTOBACS SUPER GT ROUND7

FAV HOTEL AUTOPORIS GT 300KM RACE



NISSAN REALIZE GROUP YOKOHAMA PITWORK UD TRUCKS Logisnext 日産車体 株式会社ゼロ 日産モータースポーツ&カスタマイズ

ALTA ROCK PAINT PREMIER Assist 5YEARS COAT Premium TOPPAN NGK NTK MAC TOOLS Döff KMNOTO LSI CO., LTD. G.T. LED GSB

SUNTORY pepsi PUMA 日産東京 日産プリンス栃木 日産プリンス埼玉 埼玉日産 神奈川日産 日産プリンス神奈川 岐阜日産
日産プリンス三重 愛知日産 日産プリンス名古屋 日産大阪 兵庫日産 愛媛日産 日産プリンス福岡 日産プリンス秋田 長野日産 松本日産
千葉日産 日産プリンス千葉 日産自動車販売 浜松日産 京都日産 日産サテリオ佐賀 日産プリンス長崎 青森日産 日産サテリオ弘前 岩手日産
日産プリンス岩手 日産プリンス宮城 栃木日産 新潟日産 甲斐日産 日産サテリオ千葉 日産サテリオ湘南 石川日産 福井日産 日産プリンス静岡
三重日産 和歌山日産 岡山日産 日産プリンス広島 日産プリンス山口 福岡日産 日産プリンス大分 宮崎日産 鹿児島日産 KOODO

レース結果

天気：晴れ 気温：25.0度 路面：ドライ

■56号車は5位でフィニッシュ！ランキング1位で最終戦へ

2022シーズンは第6戦まで年間ポイントランキング1位と好成績が続いており、今回も出場チームで最も重い+69kgのウエイトが載る中での戦いとなりました。

“リアライズ日産メカニックチャレンジ GT-R”（GT300：56号車）は予選8位からスタートし、ドライバーは藤波選手から始まり6位まで順位を上げ、オリベイラ選手にバトンを渡しました。

56号車は最後まで粘り強く走り続け5位でフィニッシュを飾り、しっかりと6ポイントを獲得しました。

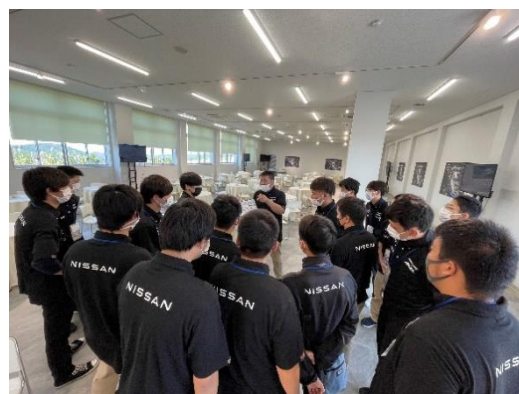


■チームワークの重要性を体感した日産メカニックチャレンジ

ホスピタリティエリアでは、今回は愛媛校の学生29人が総勢140名のゲストのおもてなしを行いました。昨年度は愛媛校の先生のみで運営を行っており、今年度は運営経験のある学生はいなかったため戸惑うこともありましたが、各学生の役割を明確化し、途中で課題や反省点を共有しあうことで、ゲストにしっかりおもてなしをすることができました。

また、お客さま対応のシミュレーションや空いている時間にミーティングを行うなど、自分たちでどのようにすればスムーズな対応ができるか、学生同士の連携を何度も確認して改善しながら臨みました。

学生からは「当初はうまくいかない事もあったが、チーム内の役割分担を明確にすることで、しっかりゲストをおもてなしすることができた」と活動に対する苦労と達成感が感じられたようです。



日産販売会社テクニカルスタッフ インタビュー

今回 SGT に参加していた日産販売会社テクニカルスタッフの方々に、ピット作業の感想や普段の仕事の取り組みについて詳しく伺い、さらに学生に向けてのメッセージなどをインタビューさせて頂きました。

〈 福岡日産自動車株式会社 野田 圭太さん 〉



Q. 仕事と SGT での作業を比べてどうでしたか。

A. 普段の仕事もお客様に安心安全にお車に乗っていただくということを心掛けていますが、SGT ではドライバーがレースに勝つ為にいかに早くトラブルが無いよう走れるかメカニックの方々が一台の車に何日も時間をかけて正確に作業されているので、雰囲気は似ているようで全く違う世界でした。

Q. 整備士を目指している学生にひと言お願いします。

A. 社会に出ると分からない事がたくさんで大変だと思います。しかし、お客様に感謝されたり先輩から整備を教わって技術を磨いたり、やりがいのある仕事です。整備士の勉強はもちろん大事ですが、学生の時でしかできないこともありますので、勉強と遊びを両立させて悔いのないように学生生活を楽しんでください。

〈 愛媛日産自動車株式会社 山之内 南斗さん 〉



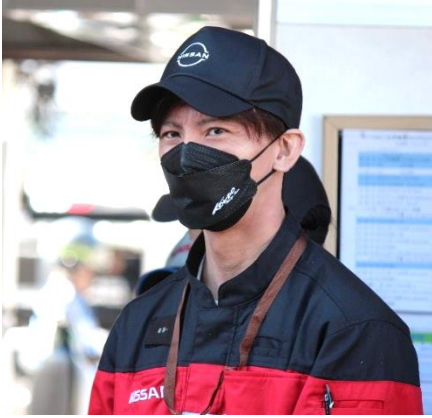
Q. なぜ整備士を目指そうと思いましたか。

A. 少年時代より SGT が好きで車にはすごく興味があり父親の車を点検等に出すとガラス張りのショールームからよく見ていました。その時はカッコイイと思っており高校からの進学時に日産愛媛自動車大学の説明会を受けて整備士になろうと思いました。

Q. 整備士を目指している学生にひと言お願いします。

A. 学生さんは学校で知識を吸収し、先生に分からないところを聞くようにして、コミュニケーション能力を上げておいてください。

〈 日産プリンス福岡販売株式会社 境 貴一さん 〉



Q. SGT での作業を体験した感想をお願いします。

A. 作業スピードと正確性の折り合いが見つところを見極めて何度もチェックしたりするような無駄な作業が無く手順も効率的でした。車両に関しては基本的な構造は普通のスポーツタイプ同等で似ていますが、各部の調整が容易になっており不要なものが削がれていました。また材質、細かい部分の構造が変更されスポーツ走行に特化し、普通の車両と似ているけど全然違うという印象です。

Q. 整備士として日頃から心がけていることは何ですか。

A. 整備する車両は「自分のクルマ」だと思って扱うようにしています。

クルマが好きなこと、自分のクルマを大事にできることが前提ではありますが、自然とどうやったらお客様に喜んでいただけるか、納得していただけるかを考えられるような気がします。

〈 株式会社日産サティオ佐賀 松本 健さん 〉



Q. 整備士を目指している学生に一言をお願いします。

A. 整備士が作業する上で大事なことは、安全第一で作業をすること、お客様に迷惑をかけないことが重要になります。また、命を預かる仕事には責任が伴いますので、責任感がある人物像が求められます。最近では自動車整備士が減っているので、お客様に頼られるような整備士になれるように学校の勉強や実習をこれからも頑張ってください。

〈 日産プリンス長崎販売株式会社 川畑 憲吾さん 〉



Q.この活動を通して感じたことや、学んだことは何ですか。

A. GT 車両 1 台に対してこんなにも多くの人に関わっていたことに驚きました。エンジニア、レースメカニック、ドライバーの方のチーム一丸となってレースに挑む姿はとてまかつよかったです。

Q 整備士を目指している学生に一言お願いします。

A.整備士の仕事はお客様の命を預かり責任は重いですが、やりがいはある仕事です。ディーラー整備士になれば社内資格を取得することができます。教育面のサポートも充実しているので安心して入社してください。



〈日産プリンス大分販売株式会社 廣田 樹哉さん〉

Q. 仕事で行う作業と SGT での作業を比べてみて、違いを感じる部分を教えてください。

A. 1 台にかかる時間と質が普段とは全く異なる部分です。レース中では作業スピードや正確さ迅速な判断など、普段スピードが求められる部分で似ている所もありました。たとえネジ 1 本でも正確な作業が求められ、いつもは 1 台をひとりで作業しますがみんなで 1 台を作業するチーム力なども学びました。

Q. 整備士として日頃から心がけていることは何ですか。

A.お客様の命を預かる仕事だと思っているので一つ一つ正確な作業と安心して乗っていただけるように日々心掛けています。一生懸命仕事をした後に、お客様から感謝の言葉を頂いた時には、この仕事を選んで本当に良かったと心から実感します。厳しいこともある仕事ではありますが、頑張ればその分自分の成果として残る仕事なので、学生のみなさんもやりがいを求めて自動車業界に入社して欲しいと思います。

学生スタッフ インタビュー

今回のメカニックチャレンジでは愛媛校全員が初参加で、慣れない環境に多くの苦労と困難がありました。しかし、どの学生も挫けずに試行錯誤しながら積極的に動き回り、ピットやホスピタリティなど様々な場所で活躍をしていました。何事にも一生懸命な愛媛校の学生が今回どのようなチャレンジが実現できたのかインタビューしました。

< 全体リーダー：合田 匡祥 >



Q. この活動を通して学んだことは何ですか。

A. どんな忙しい時でも心に余裕を持つことです。周りを見ながら他のドライバーに指示を出すにはいつでも落ち着いて行動することが求められます。自分も現場の状況を冷静に見極め、将来はもっと的確にリーダーシップが執れるような現場の整備士になりたいと思っています。

また、学びたい気持ちをどんどん前に出さないとチャンスはもらえないということを今回のメカニックチャレンジで実感しました。「誰かに言われてからやる」ではなく「常に自分が主体となって積極的に取り組む」ことがレースの現場にとって重要なことだと感じました。

< ピット領域：薦口 宗一郎 >



Q. 今回 SGT に参加を希望したきっかけは何ですか。

A. 動画で SGT を見ってからメカニックの凄さに圧倒されたことがきっかけとなり、自分も現場のピットで作業を手伝ってみたいと思ったので参加を希望しました。

ピットではドライバーとメカニックが 0.1 秒のタイムを縮めるためにチーム一丸となって積極的に行動し、現場の緊張感とチームワークを肌で感じられる貴重な体験をさせて頂きました。自分も率先して作業を手伝わせて頂き、微力でもチームが勝てるように最善を尽くせたいと思います。

ピット作業では細かな異常に気づき、安全確認や整理整頓などの確な対応ができるメカニックが必要になります。自分もサーキットで必要とされるくらい整備の技術を磨いて、将来はお客様に頼りにされるような立派な整備士になりたいです。

< ピット領域：宇高 桜輝 >



Q なぜ整備士を目指そうと思いましたか。

A. 私の祖父は自営業で整備士をしており、祖父が自動車を整備している姿を見て「カッコいい」「自分もしてみたいな」と思ったのがきっかけです。今回参加したピット作業はどの人たちも積極的に仕事に取り組み、正確な判断をしながらもミスを恐れずチャレンジをする姿がとても刺激になりました。学校では味わえない緊張感があり少し戸惑いましたが、自分も早く技術を身につけて将来会社やお客様に信頼を得られる整備士になりたいという気持ちがより一層強くなりました。今後は学校の実習授業でも一つ一つの作業を素早く丁寧にできるように心掛けたいと思います。

< ドライバーサポート：實藤 宏貴 >



Q. この活動を通して学んだことを教えてください。

A. ドライバーさんのヘルメットを持った時、「今自分は責任のある役を任されているんだ」という緊張感があり、仕事に対する責任の重さを改めて実感しました。本番は不安な気持ちもありましたが、これをやり遂げればまた一つ自分は成長できるという「チャレンジしたい気持ち」の方が強くなり、ワクワクしながらレースを見守っていました。

現場では忙しい中でもチームの一体感を感じることができ、みんなで一つのことを成し遂げる達成感はここでしか味わえない貴重な体験だったと思います。今回メカニックチャレンジに参加させて頂いたことに感謝し、ここで学んだチームプレーの大切さを将来に活かせるように勉強や就職活動を頑張りたいです。



< ホスピタリティ領域：長瀬 壮志 >



Q. この活動を通じて学んだことを教えてください。

A. 今回の活動を通じて、事前に準備していたにも関わらず、計画通りにいかないことが多くとても苦労したので、現場でのお客様対応の難しさを実感しました。しかし、お客様から感謝され、対応がうまくいったときには達成感があり、充実した活動になったと思います。また、仲間との共同作業を経験し、今後の学生生活でも仲間と協力することの大切さを改めて学びました。将来はお客様の安全を第一に考え、困りごとに寄り添い解決できる親しみやすさを持ち、多種多様な自動車を修理できる整備士になりたいと思います。

< ホスピタリティ領域：川崎 駿 >



Q. この活動を通して学んだことは何ですか。

A. どのように接客すればお客様に喜んで頂けるか、荷物の受け渡しはこれで良かったのかといった、お客様対応について経験し、自分でどのように接客をすればいいかしっかり考えるきっかけになりました。普段の学校生活では体験することのできない貴重な経験や SGT の雰囲気を生で体験することができて本当に良かったと思いました。

< ホスピタリティ領域：大岩 海翔 >



Q. この活動を通して学んだことは何ですか。

A. 今回の活動では、仲間と協力してお客様をおもてなしする場面が多く、ひとりでは絶対に成し遂げられなかったチャレンジでした。その中でチーム全体を見ることの大切さを学び、活動の後半では接客対応もうまくなっていき、自分の成長に繋がったと思います。今後はその経験を活かして、ただ車を直すのではなく、お客様に親身になって整備内容を分かりやすく説明できる整備士になることを目標にして、無事に卒業できるように勉強を頑張っ参ります。



広報チーム編集後記

まずはスポンサーの皆様へ、今回 KONDOレーシングチーム並びに販売会社で働く整備士の方々と一緒に、私たち日産愛媛自動車大学の学生にメカニックチャレンジに挑戦する機会を与えて下さったことに深く感謝し、改めてお礼を申し上げます。

SGTの活動を通して、互いにコミュニケーションを取り合い、社会で働くことの苦労や達成感を学生それぞれが実感しており、将来自分たちが目指す整備士像というものが入学当初に描いていたものより、さらに明確になりました。

また、コロナの脅威は決して落ち着いてはいませんが、感染対策を徹底して行うことで今回のメカニックチャレンジの活動を無事終えることが出来たこと、学生一同安全に活動できたことも併せてご報告させていただきます。

最後に、今回のメカニックチャレンジを通して得たことをこれからの学生生活に活かし、今後も自らの整備士像を実現させるために学業に努めて参ります。

撮影・取材・レポート作成：三木、武田、大平、都